

和歌山県立近代美術館 × 田辺市立美術館 共同開催
半世紀ぶりの大回顧展



①原勝四郎《海岸風景》1938年 大阪中之島美術館蔵

南海の
光を描く

10^土 / 7^{Sat.}
2023 / 7
12^日 / 3^{Sun.}

原勝四郎展

Hara Katsushiro
Painting the Radiance of the Kii and Its Sea

和歌山県立近代美術館（和歌山会場）

代表作により画業を回顧——各時代の主要な作品を通して、原勝四郎の生涯をたどる

田辺市立美術館（田辺会場）

同郷の画家たちとともに紹介——親密な雰囲気の小品を、交流のあった田辺の画家たちの作品と共に紹介する

プレス向け解説会のご案内 2023年10月7日（土）13時30分から

プレス関係者を対象に解説会を実施いたします。ぜひ、この機会に取材していただき、魅力を発信してくださいませようお願いします。

原勝四郎展 南海の光を描く

10月7日(土) - 12月3日(日)

原勝四郎(はらかつしろう/1886-1964)は、現在の和歌山県田辺市に生まれた画家です。絵画を学ぶため、東京、そしてヨーロッパにも赴きますが、帰国後は郷里に戻り、生地に隣接した現在の白浜町で家族と暮らしながら、絵を描き続けました。

原が描いたのは、明るく美しい紀南の風景と、そこに暮らす妻と子と自分の姿、そしてバラの花を主とする静物です。のびやかで力強い筆致と鮮やかな色彩による画面は心地良く、その生き生きとした作品の持つ力は、没後半世紀を経た今でも褪せることなく、見る者を魅了します。

原を画家として開花させ、その活動を支えたのは紀南の風土と人びとでした。明るい光に満たされたこの地の風景と向き合うなかで、原は自らの表現を作り上げ、その作品を愛した人びとが、画家の存在を見守り続けました。

この度の展覧会は、今も多くの人びとから愛され続ける画家の生涯をたどる、半世紀ぶりの大規模な回顧展として、和歌山県内のふたつの美術館が共同で開催します。和歌山県立近代美術館では、各時代の主要な作品を通して、その画業を通観できるよう展示を構成します。田辺市立美術館では、同じく絵を描いた兄や弟、また地元で交流のあった芸術家たちについても触れ、その生きた時代の地域における芸術活動についても紹介します。

両館での展示を通して、地方にありながら日本の近代美術に大切な足跡を残した画家の生涯と時代とを、ご覧いただけます。



②原勝四郎《小湾》1940年 和歌山県立近代美術館蔵

開催概要

展覧会名	原勝四郎展 南海の光を描く
主催	和歌山県立近代美術館、田辺市立美術館
助成	一般財団法人 地域創造
会場	和歌山県立近代美術館 1階展示室
会期	2023年10月7日(土) - 12月3日(日)
開館時間	9時30分 - 17時(入場は16時30分まで)
休館日	月曜日(10月9日は開館し10月10日に休館)
観覧料	一般800(640)円、大学生500(400)円()内は20名以上の団体料金 *高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料 *10月28日(土)、11月25日(土)は「紀陽文化財団の日」(第4土曜日)により大学生無料 *11月18日(土)、11月19日(日)は「関西文化の日」により無料 *11月22日(水)は「ふるさと誕生日」により無料 *12月3日(日)は無料観覧日

掲載画像は全て和歌山県立近代美術館（和歌山会場）で展示予定の作品です。
掲載用画像については広報担当にお問合わせください。
文字のせ、トリミング等をご遠慮ください。

主な出品作品



③原勝四郎《風景》1921年 田辺市立美術館蔵



④原勝四郎《風景》1931年 公益財団法人 脇村理学会蔵



⑤原勝四郎《母子像》1930年 田辺市立美術館蔵



⑥原勝四郎《バラ》1933年頃 田辺市立美術館蔵



⑦原勝四郎《青シャツ》1938年 大阪中之島美術館蔵



⑧原勝四郎《静物》1935年 美浜町立和田小学校蔵



⑨原勝四郎《江津良の海》1951年 田辺市立美術館蔵



⑩原勝四郎《海辺》1952年 個人蔵



⑪原勝四郎《裸婦》1955年 田辺市立美術館蔵

関連事業

内容の変更、事業の中止を行う場合があります。
変更があった場合は、当館のウェブサイトでお知らせします。

▶ 記念トークイベント「原勝四郎展をめぐる邂逅」

講師：酒井哲朗（福島県立美術館名誉館長、和歌山県立近代美術館初代学芸員）× 三谷渉（田辺市立美術館学芸員）、宮本久宣（当館学芸員）

日時：11月3日（金・祝） 14時から15時30分を予定。＊聴講無料、13時30分開場、先着順60名程度

場所：和歌山県立近代美術館2階ホール

内容：1972年に和歌山県立近代美術館で「原勝四郎展」を担当した酒井氏をお招きし、今回の担当学芸員2名が初めての回顧展開催をめぐる様々なお話をうかがいます。

▶ 記念ワークショップ「原勝四郎ゆかりの地をめぐる」

案内：担当学芸員ほか

日時：10月21日（土） 10時から15時頃。荒天等の場合10月28日（土）に延期予定。

場所：田辺市および白浜町内

募集人数：20名程度 ＊申し込み方法は9月20日（水）より、当館ウェブサイトでお知らせする予定です。

内容：原勝四郎が暮らし、作品に描いた現地を実際に訪れます。和歌山市（和歌山県立近代美術館）からマイクロバスを運行予定ですが、現地（田辺市立美術館）集合も可能です。

実施・運営：NPO 法人 和歌山芸術文化支援協会（wacss）

▶ こども美術館部「みんなで『はら活』！」（小学生を対象とした作品鑑賞会）

日時：11月25日（土）、11月26日（日） ＊11時から1時間程度

場所：和歌山県立近代美術館1階展示室

人数：6名程度 ＊11月7日（火）、9時30分より和歌山県立近代美術館ウェブサイトに参加申込み受け付け開始。

▶ フロアレクチャー（学芸員による展示解説）

和歌山県立近代美術館

日時：10月29日（日）、11月12日（日）、11月26日（日） ＊14時から、1階展示室にて、観覧券が必要。

田辺市立美術館

日時：10月14日（土）、11月11日（土） ＊14時から、展示室にて、観覧券が必要。

同時期に開催の展覧会

▶ 特別事業 トランスボーダー

和歌山とアメリカをめぐる移民と美術

会期：9月30日（土）-11月30日（木）

▶ 県立博物館（と）の展覧会

生誕850年記念特別展 紀州・明恵上人伝

会期：10月14日（土）-11月26日（日）

▶ 小企画展 原勝四郎と同時代の画家たち

会期：10月7日（土）-12月24日（日）

▶ 熊野古道なかへち美術館（田辺市立美術館分館）

開館25周年記念特別展

野長瀬晩花と国画創作協会の画家たち

会期：10月7日（土）-12月3日（日）

お問い合わせ先

和歌山県立近代美術館

学芸担当：宮本久宣、植野比佐見

広報担当：村井

〒640-8137 和歌山県和歌山市吹上1-4-14

T E L : 073-436-8690

F A X : 073-436-1337

E-MAIL : press@momaw.jp

W E B : <https://www.momaw.jp>



WEB



Facebook



Twitter



Instagram